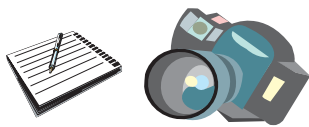


# カメラサポーターだより



## 地域の食文化を体験

今月の取材 石鳥谷町新堀 似内 晶子 さん

9月30日、食の安全安心親子探検隊が行われ、わたしも小学5年生の息子と一緒に参加しました。最初に石鳥谷町八重畑地区のイーハトーブ雑穀村を見学し、村長の伊藤正男さんから雑穀についての話を聞きました。雑穀は食物繊維やミネラルが豊富。その栄養価満点のひえやあわ、きびなど六穀を混ぜてみんで、ひつまみをつくり、お昼においしくいただきました。また、雑穀加工施設「プロ農夢」花巻も見学し、生産・製造・流通にかかわる人たちの苦労や工夫を学びました。この探検を通して、食に関心を持ち、自分たちの食生活を見直し、食材選びや食事のあり方を考えたりすることができました。



小学生の親子など43人が参加。一生懸命メモを取りながら説明を聞きました

## 伝統文化とふれあう

9月30日から10月5日まで、ドイツシユタインフルト郡の青少年や関係者など17人が本市を訪れました。この交流は、平成2年から行われているもの。青少年たちは東和地域の家庭にホームステイしながら、日本の生活や文化などを体験しました。東和町安儀の凌雲寺では、座禅に挑戦。住職の西川隆道さんに、座り方や手の組み方などを教わりながら、座禅の真髄を学びました。また、ホストファミリーと一緒に稲刈りやりんごの収穫を体験したり、消防署で放水を体験したりするなど、日常生活に密着した体験を通して、大勢の皆さんと交流を深めました。この交流の芽をこれからも育てていきたいですね。



「次はどうすればいいのかな」。東和茶道研究会の皆さんに指導を受けながら茶道を体験しました

## 長寿を祝い みんなで乾杯

8月27日から9月21日まで、市内21地区・50行政区で敬老会が開かれました。招待されたのは75歳以上の皆さん。今年米寿を迎えた方々と100歳以上の皆さんに記念品が贈られ、参加者みんなで長寿を祝いました。9月18日に大迫町民会館で開かれた大迫地区敬老会では、舞台上で繰り広げられる歌や踊り、ダンスなど、地域の方々の心のこもったもてなしに、皆さんにっこり。おいしい料理を食べながら、楽しいひとときを過ごしました。長い道のりを力強く、しなやかに歩んでいる皆さん。歳を重ねることに輝きを増し、ずっと地域を支えてきた皆さんのパワーを私たちも見習いたいですね。



楽しく語らいながら舞台を見つめる皆さん。自然と笑顔がこぼれますね(大迫地区敬老会)



「かむな、飲み込め！」の大声援。ぶどう2層の早食い競争。ぶどう大食い選手権

## 芳醇なワインを満喫

第37回大迫ワインまつりは、9月17日、大迫町ぶどうの丘地域で行われました。恒例のワイン娘によるぶどう踏みには、多くの観客が集まり、おけの中がぶどうの果汁でいっぱいになるにつれ、周囲は甘酸っぱい香りに包まれました。エリアごとに分かれた会場では、多彩なイベントも開催。ワインゼリー早食い大会や子どもぶどう踏みの参加者には、たくさん笑顔と声援が送られました。会場を訪れた多くの皆さんは、特産のワインや手作りチーズなどを味わいながら、楽しい秋の1日を過ごしました。



大勢の観客のかけ声に笑顔で応えながら、ぶどう踏みをするワイン娘

## 親子で楽しく元気よく

9月29日、子育てサークル合同運動会が石鳥谷地域の八幡交流センターで行われました。運動会には、親子や子育てサポーターなど約60人が参加。大玉ころがしや親子でハイハイ、ママは宅急便など8種類の競技が行われました。親子が一緒になつて競技にチャレンジし、一つひとつに歓声を上げながら元気いっぱい楽しむ姿に、会場は大いに盛り上がりました。運動会を通して、情報交換を行いながらサークル同士の交流の輪を広げた皆さん。親子のきずなも大きく深まりました。



「運動会楽しいね！」子どもたちは元気いっぱいに体を動かしました

## 産業振興に新たな力

第一工業団地テクノパークに新工場を建設する、起業化支援センター入居企業(株)三協東北と本市との工場土地協定書調印式および県土地開発公社との土地譲渡契約締結式が、9月28日、市内ホテルで行われました。同社では、主に各種金型パーツや電子部品包装容器などを製造。今回、新たな事業展開を目指し、同センターを独立してテクノパークへ新工場を建設することになりました。新工場は今年12月から操業する予定。将来的には新たな地元雇用も見込まれ、地域経済の活性化が期待されます。



がっちり握手を交わす左から橋本土地開発公社理事長、杉山社長、村井総合支局長、大石市長